

「Uber Eats」の外出産業への影響について

孟繁鵬

論文要旨

本論文は、「Uber Eats」の外出産業への影響について研究するものである。消費者が「Uber Eats」の利用頻度、消費金額と消費者が外出の頻度、消費金額を調査する。そして、調査結果の分析を通して、「Uber Eats」の外出産業への影響について研究するものである。調査票の質問項目は、性別・職業・年齢等、調査対象の属性をたずねるもののほかに、「Uber Eats」の存在を知ったいつですか。」「Uber Eats」を使いますか。」など、11問が設定した。各質問への仮説と質問同士の関係に関する仮説を設定し、カイ2乗検定で検証した。

カイ2乗検定の結果によって、人々の意識についてほとんどの人が外出する傾向があるために、「Uber Eats」は外出産業に悪い影響はない。そして、「Uber Eats」は家賃の制約を打ち破り、運営の幅を広げることで、より多くの収益を生み出すことができる。外出産業に対して収入を増やすためのもう一つの手段になったと思う。したがって、外出業界が現状のままで、「Uber Eats」の加入で、外出業界の収入はさらに向上している結果が得られた。